

土壌改良材から生まれた環境に優しい

農業用融雪剤

※ご家庭でもご利用頂けます

本商品は土壌改良剤として開発されたシリカを主成分とした融雪剤です。

雪の表面で作用し、太陽光の熱吸収を高め、融解熱、凝固点降下などの複合的な効果によって融雪致します。(塩カルのように、環境負荷が高く、化学反応で強制的に雪を溶かす物ではございません)植物への影響が少ない為、芝生地や園庭、畑などにご利用頂けます。

[商品特徴]

- ・粉末状のため拡散しやすく、有色な為、ムラを無くすように散布することができます。
- ・次の降雪まで効果が持続します。(融雪し、以前に散布した融雪剤が露出した場合、再び太陽光の熱吸収効果が期待できます。)
- ・本商品は環境負荷が低く同じ場所で繰り返してご利用頂けます。(錆や塗装の腐食の原因となる塩類を含みません。酸化物によって構成されています。)
- ・冬のシーズン以外にも、土壌改良材として土壌の酸性化に対しても効果があり、年間を通して、ご利用頂けます。

[使用方法]

- ・一度の散布量は積雪後に1㎡当たり200g程度を目安にムラの無くなるようにご利用ください。(ザルなどを使用いただくことで、より均等に散布頂けます。)
- ・降雪の度に適宜に使用頂くことで、冬のシーズンを通した残雪量を大幅に減らすことができます。

[使用上の注意]

- ・有害な成分は含まれませんが、多く散布される場合には、吸引しないようマスクなどを使用ください。
- ・融雪の効果は日当たりなど、外部環境の影響を大きく受けます。道路など安全性が問われる場所には塩カルをご使用ください。(日陰の場所であっても、滑り止め、転倒防止効果が期待できます)
- ・不溶成分を多く含む為、融雪後に融雪剤が多少残留いたします。通常は春先の雨などによって流れます。
- ・環境負荷の少ない成分で構成されておりますが、散布量を一度に過剰に散布する場合はその限りではありません。目安を参考頂き、ご利用ください。
- ・散布量が少ない場合には解けた水分によって融雪剤が凝集しムラができることで融雪効率が低下する場合がございます。その際には新たに散布ください。



市販塩カル剤との比較
(左:融雪剤 右:塩カル、100g/㎡散布3時間後)

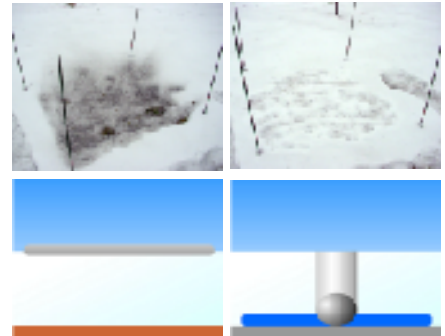
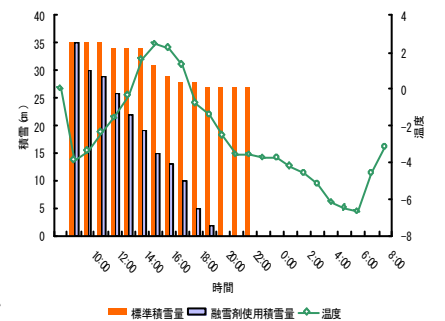


Figure1 融雪剤使用による積雪量の変化



含有試験

計量の対象	計量結果
含水量	0.3%
熱灼減量	0.16%
酸化アルミニウム	23%
酸化第二鉄	1%
酸化カルシウム	28%
酸化マグネシウム	8.2%
酸化チタン	1.8%
酸化カリウム	0.2%
酸化ナトリウム	0.13%
リン酸全量	0.8%
ケイ酸	32%
無水硫酸	0.9%

容出試験

計量の対象	計量結果
水素イオン濃度	PH 12.5以上
カドミウム又その化合物	検出されず
鉛又その化合物	検出されず
六価クロム化合物	検出されず
砒素又その化合物	検出されず
シアン化合物	検出されず
水銀又その化合物	検出されず
アルキル水銀化合物	検出されず
有機リン化合物	検出されず

(検査日 平成14年3月11日)

放射性物質に関する測定を平成23年7月31日におこないましたが検出されませんでした。(検出下限値14Bq/kg)



Apple

長野電波技術研究所 Nagano Institute of Radio Wave Technology

〒 381-2225 長野市篠ノ井岡田1691 / Okada,shinonoi,Nagano 381-2225 Japan
Tel / 026-292-6755 Fax / 026-292-6701 URL: www.i-apple.jp